



地域支援コラム

6月26日、A 小学校にて右片まひの児童のプール指導を行いました。昨年度に比べて、水に対する恐怖感が少なくなり、頭を水につけ、ビート板を両手で持ってバタ足で泳ぐことにチャレンジしていました。泳ぐ際の姿勢の安定に関して、プール底を蹴ってスタートすることで安定性を確保できることをアドバイスすると、継続して泳げる距離をのばすことができました。水中での身体のバランスをとることの他にも、普段から気になっている課題について、担当の先生と話し合いをしました。

7月3日、今年度二回目のプール指導では、前回のアドバイスを児童自身が意識し、左足でプール底を蹴ってスタートすることがスムーズになっていきました。次に壁を蹴ってスタートする練習へ移行すると、さらに体幹が安定し、徐々にまひのある右足のバタ足も強くキックすることができるようになりました。また、水中での呼吸についてアドバイスをすると、鼻呼吸を意識できるようになり、顔をつけてのバタ足の距離が9M まで伸ばすことができ、児童が笑顔で喜ぶ姿がみられました。

二度にわたる指導において、特に児童の「もっと泳げる距離を伸ばしたい。」という前向きな気持ちが大きな成長につながったと感じられる指導でした。

